

釜石市立小佐野公民館 事業実施報告

I 運営方針・重点目標

1. 運営方針

公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点であり、住民同士が「つどう」「まなぶ」「むすぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献する施設です。

生涯を通じて学ぶことで、充実した生きがいのある人生を送ることができ、人間性ゆたかな地域社会の構築につながることから、地域住民の主体的な生涯学習活動を推進するために「いつでも、誰でも、どこでも」自由に学習機会を選択でき学ぶことができる学びを推進します。

小佐野公民館は、地域コミュニケーションの核として、また情報発信基地として、各種団体等との連携を図りながら、生涯学習の推進と地域課題の解決に向けて、積極的に取り組んでいきます。

また、誰もが生きがいを持って安心して暮らせる地域包括ケアのまちづくりを進めるため、被災者や子ども、高齢者など様々な立場にある人同士の地域交流を大切に、地域住民が主体的に取り組む活動を支援してまいります。

新型コロナウイルスは制限も緩やかになりましたが、突発的な感染症まん延には即座に対応できるような事業運営に努め、利用者の安心・安全に繋げることを心がけます。

2. 重点目標

- (1) 地域住民に親しまれ、気軽に立ち寄ることができ、地域住民に役立つ公民館の運営に努めます。
- (2) 一生涯の学びを提供するため、各年代の学習ニーズの把握に努め、学習の機会と場の提供に努めます。
- (3) 土曜日や長期休暇を利用し、子ども達が公民館活動に積極的に参加できる事業を実施するとともに、小・中学校、学童育成クラブやPTA等と連携協力してまいります。
- (4) 地域の自主活動グループ等に活動の場を提供するなど、主体的な学びに対して支援を行います。
- (5) 諸事業を推進するに当たり、関係機関・団体等との相互連携・協力関係を密にし、効果的な運営を心がけます。
- (6) 高齢者が学びを通じ、生きがいを持って地域とのつながりを持ち続けていくことができるよう支援します。
- (7) 利用者の協力を得ながら、新しい生活様式を取り入れ、安心して活動できるよう感染症予防に努めます。

Ⅱ 事業報告

1. 乳幼児を中心とした事業

施 策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	母子保健事業	乳幼児の健康保持及び増進、また、保護者の育児不安の軽減	きらきら親子サロン～出前講座～ 〔場所〕 向定内集会所 〔対象〕NPO 法人きらきらぼしによる親子サロン参加者 〔内容・実施状況〕 6/25 身体計測・個別相談 7組(母親 7人・乳幼児 9人) 12/10 歯科講話・個別相談 5組(母親 5人・乳幼児 7人) 2/25 予定
	<p>【成果と課題】</p> <p>昨年度から、NPO 法人きらきらぼしの活動とコラボして実施している。講座内容は、昨年度末のアンケート結果を踏まえて設定した。入園前の乳幼児、核家族の家庭が多く参加するため、育児に関する情報を得る機会として、また遊びの場というリラックスした雰囲気の中で、各保護者から日頃感じている子どもに関する心配事について、相談に応じることができた。</p>		

2. 学齢期を中心とした事業

施 策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの子育てへの支援	小佐野寺子屋事業	長期休暇中の子どもの居場所の提供、体験・学習活動を行い子育て支援を図る。	① 子ども将棋教室[めざせ！ 竜王] 〔時期〕 長期休暇(冬・春休み) 各3日間(午前のみ) ※冬休み分は 1/7、10、14 に実施済 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 管内小・中学生 ※冬休み 8人(延べ 19人) ※8名の定員に対し、8名の申込有 〔内容〕 小佐野公民館自主活動グループ「正棋会」の協力を得て、将棋教室を開催 〔実施状況〕 ※春休みは 3/21、25、28 で実施予定 ※周知は小学校へのチラシ、前回参加者への案内
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春休み期間中も開催予定。 ・参加した児童は、引き続きの申込者が多く見受けられ、新たに申し込むのは低学年者が多かった。将棋は勿論、所作、礼儀についても真剣に指導を受けていた。 		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
地域ぐるみの 子育てへの支 援	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中の子どもの居場所の提供等、子育て支援を図るとともに、高齢者との世代間交流の場、高齢者の生きがいつくりにつながる事業である。 ・地元出身の小山玲央くん（実家は定内町）の偉業に続くことが出来るよう、少しでも役に立つ事業として、継続したいと思う。 		
	小佐野キッズ クラブ	さまざまなことを体験し、考え学ぶ機会を創出することにより、子どもの好奇心を高め、思考力、創造力、行動力を伸ばす。	※実施出来ず。
	【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・協力団体の状況や他の行事等と日程が重なったことで、日程の調整が叶わず、昨年度に続き実施出来なかったことから、十分な考慮が必要である。 ・講座内容、地域資源の活用や世代間交流の場を創出するような事業を検討していくこととしたい。 		
	釜石中学校総合文化部クラブ事業	学業やクラブ活動などで他事業に参加できない生徒に対し、さまざまなことを体験し考え、学ぶ機会を創出することにより、生徒の思考力、創造力、行動力を伸ばす。	・今年度は実施なし
	【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は釜石中学校と協議し、様々なことを体験し、考え、学ぶ機会の創出を図りたい。 		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	子ども食堂の開設	見守りの一環として、子どもたちの新たな居場所の創出	〔時期〕 7月、12月 2回 〔対象〕 小佐野小児童 〔場所〕 小佐野公民館、小佐野小体育館 〔内容〕 ・学習の補助 ・ニュースポーツ、軽運動による遊びの場創出 ・紙芝居、折り紙教室、カルタ大会 ・お金にまつわるわかりやすい講座 ・食事の提供 7月27日(土)・90人・ドライカレー 12月21日(土)・121人・カツカレー
	【成果と課題】 ・実施時期、実施回数、参集範囲は適切だったのか検証が必要だと思われる。 ・運営の主体をどこにおくのかという検討も必要ではないかと思われる。		

3. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
健康づくり	スポーツ交流会	スポーツを通じて小佐野管内住民が交流しながら、自らの健康意識の向上やリフレッシュを図る。	① 西地区合同ウォーキング交流会 〔時期〕 <u>6/11、18、24、7/1</u> に実施 〔場所〕 唐丹荒川バス停から釜石駅前まで 〔対象〕 地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者 4名(延べ18人) 〔内容〕 <u>荒川から釜石駅前までを4区間に分けて4日間で完歩した。</u> ② 西地区合同日向ダム見学交流会 〔時期〕 8月5日実施 〔場所〕 日向ダム 〔対象〕 地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者 4名 〔内容〕 日向ダムは、一部の方には知られているものの、まだまだ知られていないことから普段見ることのないダムの管理棟内やダム堤体内部見ることが出来た。

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>③ 西地区合同ソフトボール交流会 〔時期〕 9月25日に実施 〔場所〕 大天場運動広場 〔対象〕 地域住民(西地区) ※小佐野地区参加者 15名 〔内容〕 甲子・小佐野・中妻で活発に活動しているソフトボールで交流会を開催した。</p> <p>④ 西地区合同スポーツ交流会 〔時期〕 10月9日実施済 〔場所〕 釜石市球技場 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 15名 〔内容・実施状況〕 ※グラウンドゴルフ・スカットボール・ボッチャ 3種目実施 ※スポーツ推進課(スポーツ推進員)の協力を得て実施できた。</p> <p>⑤ 西地区合同干し柿づくり体験交流会 〔時期〕 11月15日に実施 〔場所〕 甲子林業センター 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 10名 〔内容・実施状況〕 ※季節の風物詩である干し柿作りの体験会を実施した。</p> <p>⑥ 西地区合同屋外運動教室 〔時期〕 毎月第2水曜午前 〔場所〕 釜石市球技場 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 3~5名 〔内容・実施状況〕 主にグラウンドゴルフを実施</p> <p>⑦ 大人のえんそく 橋野鉄鉱山ツツ刈 〔時期〕 9月6日実施 〔場所〕 橋野鉄鉱山、御神楽杉、瀧澤神</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			社奥の院 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 10名 〔内容・実施状況〕 有名な史跡を巡りつつ、自然景観を堪能する
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・3地区公民館（甲子・小佐野・中妻）合同で開催。 ・ニュースポーツ等を通じて地域住民の良好な関係づくり、交流の場となった。 ・来年度以降も開催し区域を越えた交流の場、健康づくりの場の創出を図りたい。 ・新たな試みには、参加者の偏りを防ぐ効果もあると認識した。 			
健康教室	地域や世代を超えた交流の場を創出し、住民主体の活動へつなげると共に健康意識の向上、増進を図る		はまゆり健康づくり教室 〔時期〕 4月から毎月1～2回 〔場所〕 小佐野公民館 3階大ホール 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 ストレッチ体操、ニュースポーツ等 講師/スポーツ推進員 佐藤千依 4/8・13名、4/22・16名、 5/13・12名、5/27・14名、 6/10・15名、6/24・17名、 7/8・13名、7/22・9名、 8/26・14名、9/9・14名、 10/28・13名、11/11・12名、 11/25・18名、12/9・16名、 12/23・15名、1/27・17名、 3/10・3/24 予定
【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域や世代を超えた交流機会を創出し、健康づくりの継続と主体的活動へのきっかけとすることを目指して取り組んでいるものである。 ・いつでも、だれでも気軽に参加できる活動として根付いてきたが、この教室以外の参加者同士の交流につながる取り組みとなるよう働き掛けたい。 			
チームオレンジ・こさの関連	認知症支援の取組み		〔対象・内容・実施状況〕 《認知症サポーター養成講座》 11/14 26名 小川集会所 11/29 11名 小佐野コミュニティ談話室 《ステップアップ研修、情報交換会》

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			7/3 35名 大ホール 2/26 予定
	【成果と課題】 ・他人ごとではない少子高齢化の中で、認知症支援への関心は年々高まっている。 ・何もしなければ、せっかく集まったメンバーも減っていく。新たな活動に取り組み、新たなメンバーを加入させて、活動を充実、継続させていく必要がある。		
	健康講座	健康や疾患等正しい知識を得るとともに行動変容への意識向上を図る。	〔対象・内容・実施状況〕 ※自主活動グループ等の支援 参照
	【成果と課題】 ※自主活動グループ等の支援 参照		
	健康相談事業	心身の状態を知る機会とし、健康意識の向上、増進を図る。	個別健康相談会 〔場所〕小佐野コミュニティ館、小川集会所 〔対象〕市特定健診を受けた地域住民 〔内容・実施状況〕 健診結果の説明、生活習慣指導 11/28、12/3、12/6 計9名 ※ほか随時、訪問・面談にて相談対応。
	【成果と課題】 特定健康診査を受けた方のうち、特定保健指導・受診勧奨以外の方を対象にした個別相談会。今年度は小佐野コミュニティ会館に加えて小川集会所も追加したところ、それぞれに予約あり。今後も、結果送付時期に合わせて、開催地区を選定して実施していく。		
男女共同参画の推進	男の料理教室	男性も調理実習に参加することで、参加者同士で交流を図り、閉じこもり予防と自らの健康保持・心身のリフレッシュを図る。	小川メンズグルメ会 〔場所〕小川集会所 〔対象〕住民 会員8人 〔内容・実施状況〕 調理実習と健康講座(会の目標設定、食中毒予防、脳卒中予防) 6/20、8/7(うのすまい男の手料理会と交流)、9/6、10/31(公民館まつりお振舞 予行演習)、11/9(公民館まつり)、 1/17、3/4 予定
	【成果と課題】 小川町のみ活動に留めず、ほか地域からも会員加入しており、貴重な男性の集		

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	<p>いの場となっている。また、今年度は公民館まつりで小佐野・小川婦人部の方の協力も得て、120食分の調理を実施。引き続き、交流の場を通して男性陣がやりがいを持って活気ある活動ができるよう支援していく。</p>		
芸術文化活動の推進	教養講座	音楽の世界に触れることにより、生きがいや教養を身につける。	<p>音楽の力による復興コンサート</p> <p>〔時期〕2月7日実施</p> <p>〔場所〕小佐野公民館大ホール</p> <p>〔対象〕地域住民</p> <p>〔内容〕(公財)「音楽の力による復興センター・東北」による、ピアノとうたのコンサート</p> <p>※18人鑑賞</p>
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者は大いに楽しみ、好評な企画であることが確認できた。 ・継続開催を望む声もあるが、県補助金も終盤であり、独自に出演者を呼ぶ工夫も必要になると思われる。 		
	市民講座	学び、体験、交流の場をつくり、学び得た知識や体験を日々の生活や地域活動に活かす。	<p>童謡・唱歌を楽しむ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施なし
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱心な参加者が多く、参加者同士の交流の場になっていて、交流を深めながら楽しく歌って有意義な時間を過ごす場となるが、日程を確保できず実施できなかった。 		
パッチワーク講座	新たな趣味の発掘、充実と参加者間の交流	<p>〔対象・内容・実施状況〕</p> <p>第3期 作品：マルチケース アップリケ付</p> <p>それぞれ火曜と土曜のコースを設定</p> <p>各コース週1回×3回で完成</p> <p>各回7～8名参加(平均)</p> <p>講師：関政子先生(甲子町在住)</p> <p>日程：10～12月まで</p>	
<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、安定した数の参加者が見込まれ、一定の好評価が得られている企画であるが、実施は先生の都合による部分が大きく、開催日が不定というのが課題。 			

4. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
交流の場の創出	小佐野公民館まつり	活動成果の発表により交流を深め、今後一層の活動意欲の向上を図るとともに生涯学習の振興に資する。	〔時期〕 11月9～10日実施 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 地域住民 約400名来場 〔内容〕 ・中妻公民館との共催 ・ステージ発表、作品展示、体験教室、わたあめと豚汁の振舞
	<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ開けの5年ぶりの開催となった。 ・多くの方から継続を望む声が届き、もっとも地域を元気にする行事だという認識を新たにした。 		
社会参加の促進	自主活動グループ等の支援	地区住民・自主活動グループなどの要請に応じ、センター職員を健康教育等の目的で派遣し運営の支援を行なう。	<p>① よったんせ 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 「第3次健康かまいし21プランについて」 4/25 (23人)</p> <p>② いきいき小佐野会 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 「調理実習、減塩」 11/27 (20人)</p> <p>③ ひまわり会 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 定内3丁目ひまわり会・定内4丁目 にここ会 交流会「血压測定」 6/11 (14人) 「こころのセミナー」2/7 (11人)</p> <p>④ 向定内ヘルシー教室 〔場所〕 ひまわり集会所 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕</p>

		調理実習と健康講座「食中毒予防」 「脳卒中予防」 6/17 (6人)、10/3 (7人)、 12/5 (6人)
		⑤ 菜の花会 〔場所〕 中小川集会所 〔対象〕 地域団体 〔内容・実施状況〕 「第3次健康かまいし21プラン・ 血圧測定」5/28 (8人) 「権利擁護」9/24 (9人) 「調理実習、減塩」11/26 (10 人)
		⑥ 暖チーズサロン 〔場所〕 野田団地小佐野公民館分館 〔対象〕 地域住民 〔内容・実施状況〕 「脳卒中予防」2/21 予定
【成果と課題】 地区住民組織や町内会が、それぞれ工夫を凝らした運営で、地区住民の社会参加の 機会を創り上げている。各団体の定例開催に合わせ、年に数回ずつ健康講座を実施 した。各組織が運営を継続、且つ健康意識を維持・向上していただく機会となるよ う、意見を交わしながら、次年度も支援していく。		
大人のD・I・Y 体験教室 ※中妻と合同	公民館事業への参加者 は女性が多い傾向にあ ることから、男性の参 加を促す企画として開 催（中妻と共催）	〔時期〕 11月12日実施 〔場所〕 釜石地方森林組合 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者 4名 〔内容〕 ・折り畳み椅子、マガジンラック、プ ランターのうち一点製作 ※有料
【成果と課題】 ・結果として、参加者は女性のみ。 ・男性参加を促す企画の検討が更に必要。		
そば打ち体験 ・試食会	鶉住居地域で好評の企 画を小佐野でも取り入 れ、公民館活動の新た な展開につなげる	〔時期〕 6月28日実施 〔場所〕 当館調理室、小ホール 〔対象〕 地域住民 ※小佐野地区参加者8名

		〔講師〕 そばの三たて会 〔内容〕 ・そばを打つところから、食べるまでの一連の作業について、丁寧で本格的な指導を受けながら体験するもの
	【成果と課題】 ・参加者は概ね好評の反応を示していた。 ・時間配分等を含め、内容も公民館事業としてちょうどよく、新たな公民館事業参加者の掘り起こしにつながりそうな部分もあるので、今後も開催を検討したい。	

5. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
社会教育施設等の充実	施設の貸館	地域の学び、考え、行動する拠点として公民館施設を活用する。	自主活動グループ、一般団体に対して、活動の場として施設ホール等の貸し出しを行う。 〔時期〕 通年 〔場所〕 小佐野コミュニティ会館 〔対象〕 一般団体・市民 〔内容・実施状況〕 利用人数 12,676 人(R7.2.14 現在) ※昨年度とほぼ同数で推移
	【成果と課題】 ・各グループの参加者は高齢化が進んでおり、階段の昇降が大変だと訴える方も多く、施設整備や活動継続のための後継者の確保が課題。 ・高齢化により利用団体が減少しており、新規の団体の掘り起こし、高校生等の学習や活動の場として役割も模索するべきと考える。		
	施設の維持管理	安全・快適な利用環境を整える。	清掃業務・消防機器点検等の各種委託業務を実施。 時間外・休日等の施設業務は小佐野町内会に委託する。
【成果と課題】 ・利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう点検や修繕を行なったほか、小佐野町内会と連携しながら会館の管理運営を行なった。 ・エアコンの設置により、夏場の使用環境に少なからず配慮出来た。 ・旧小佐野中学校の解体により、利用団体の駐車場の確保が出来、手続き等で来所する方々の利便性が向上した。 ・施設の老朽化、暖房器具の故障等利用環境の整備予算の確保が必要である。			

6. 市民が主役の学び社会を目指した事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
生涯学習推進体制の整備	公民館運営審議会	公民館における各種事業の企画及び実施につき調査審査を行う。	〔時期〕 年2回、5/17・2/20 〔場所〕 小佐野公民館 〔対象〕 審議会委員 〔内容〕 委員による公民館運営等の審議
	【成果と課題】 公民館の適切な運営を維持するため、運営方針及び事業計画について審議した。		
生涯学習ネットワークの形成	「公民館だより」の発行	学び・健康・地域づくりをテーマとした学習機会と場を提供し、以て住民の生涯学習意欲を引き出す。	公民館事業、その他地域の情報をPRするため、「小佐野公民館だより」を発行する。 〔時期〕 毎月1回1日発行 〔対象〕 地域住民・小佐野小学校生徒等 〔内容・実施状況〕 イベント周知・結果報告、保健事業等の情報、地域の話題など約4,000部発行
	【成果と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月1日号から約9割全戸配布とし、継続中。 小中学校配布分は、メールで送るなど簡素化を継続中。 何かと掲載記事が多く、従来の高齢介護福祉課地域包括支援センターのコーナー菊池流帆選手情報、小山玲央棋士の情報が手薄になった。 		